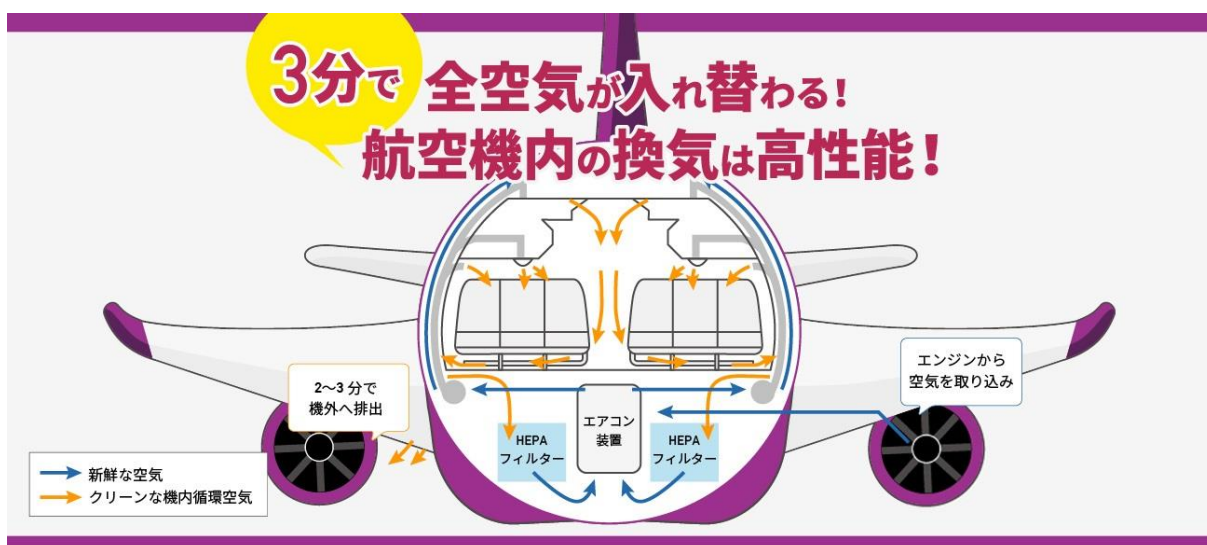


2020年5月26日
Peach Aviation 株式会社

機内換気に関する特設ページを開設 ～安心して航空機をご利用いただくために～

- ・ Peachは、手術室や無菌病室と同等以上の高性能フィルターを採用
- ・ 機内の空気は約3分間ですべての空気が入れ替わり、常に清潔な状態を確保
- ・ 頭上から足元へ流れる空気循環により、空気の停滞を回避

Peach Aviation 株式会社（以下:Peach、代表取締役 CEO: 森 健明）は、機内換気に関する特設ページを本日公開しました。



特設ページ(航空機内の換気性能について): www.flypeach.com/information/jp/air-circulation/

Peach は機内の空気を常に清潔に保つため、すべての航空機の空調システムに高性能な HEPA フィルター^{※1}を導入しています。Peach が導入している HEPA フィルターは 0.3 ミクロン^{※2} の大きさの不純物でも 99.99% 捕集することができる高性能フィルターで、多くの航空機に装備されている HEPA フィルター(0.3 ミクロンの大きさの不純物を 99.97% 捕集)よりも空気の清浄能力に優れており、感染予防のため厳格な空調システムが求められる手術室や血液疾患などの治療に用いられる無菌病室などで装備されている HEPA フィルターと同等以上の性能を有しています。なお、国際航空運送協会(IATA)は、「航空機に装備されている HEPA フィルターは手術室で使用されている空気清浄フィルターと同様の作用があり、その他の密閉空間と比べ感染リスクが低いと考えられる」と発表しています。

機内には、エンジンなどを通じて新鮮な外気を取り込んでいます。機内の空気は HEPA フィルターを通過することにより 99.99% 以上の不純物が濾過された後、循環します。新しい空気を機外から取り込み、機内の空気を継続的に機外へ排出することにより、約 3 分間で機内のすべての空気が入れ替わる仕組みになっています。

さらに機内の空気は、天井から座席下へと常時一方向へ流れているため、空気が客室内の前後左右に広がることや、一箇所にとどまることはありません。こうした機内の空気循環の特性に加え、機内ではお客様同士が対面で座ることがないため、万が一の飛沫ウイルスによる感染リスクも低減されています。

<機内での空気の流れ>

- ① 機外からエンジンなどを通して新鮮な外気を機内に取り込む
- ② 機内の空気は、HEPA フィルターで空気中の 99.99%以上の不純物を濾過し、機内を循環
- ③ 機内の空気は、とどまることなく上から下へ循環した後、機外へ排出
- ④ 継続的に機外から外気を取り込み、約 3 分間で機内のすべての空気が入れ替わる

Peach ではハイレベルな機内換気に加え、徹底した機内消毒の実施、客室乗務員のマスクや手袋の着用などお客様に安心してご利用いただくために対策を実施しております。詳しくは以下の特設ページをご覧ください。

特設ページ(新型コロナウイルス感染症に関する対応について): www.flypeach.com/news/20200130

※1 High-Efficiency Particulate Air (HEPA) Filter

※2 医療用マスク「N95 マスク」が捕集できる不純物の大きさも 0.3 ミクロンです